

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議審議期間日程表

◇ 審議期間 6月10日～6月25日 (16日間)

日次	月日	曜	会 議 別	開会時刻	議 事 内 容	備 考
第1日	6月10日	火	本 会 議	午前10時	1. 再 開 2. 審議期間の決定 3. 会議録署名議員の指名 4. 諸般の報告 議会議務局長 5. 議案の上程 提案理由の説明…市長 予算・条例等内容説明 …企画財政課長等 6. 請願の付託 7. 散 会	予 算 決 算 常 任 委 員 会
第2日	6月11日	水	休 会			
第3日	6月12日	木	休 会	質疑・一般質問通告書の提出期限午前11時まで		
第4日	6月13日	金	休 会			
第5日	6月14日	土	休 会			
第6日	6月15日	日	休 会			
第7日	6月16日	月	本 会 議	午前10時	質疑・一般質問	
第8日	6月17日	火	本 会 議	午前10時	一般質問	
第9日	6月18日	水	本 会 議	午前10時	一般質問・議案の委員会付託	
第10日	6月19日	木	休 会	午前9時		予 算 決 算 常 任 委 員 会
第11日	6月20日	金	休 会	午前9時		総 務 文 教 常 任 委 員 会
第12日	6月21日	土	休 会			
第13日	6月22日	日	休 会			
第14日	6月23日	月	休 会	午前9時		産 業 厚 生 常 任 委 員 会
第15日	6月24日	火	休 会			
第16日	6月25日	水	本 会 議	午前10時	1. 委員長報告 2. 質疑・討論 3. 採 決 4. 議員派遣 5. 散 会	予 算 決 算 常 任 委 員 会

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議委員会付託議案一覧表

◇ 予算決算常任委員会（26.6.10、26.6.18、26.6.25付託）

番 号	件 名
議案第33号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第1号）について
第34号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第2号）について
第43号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について

◇ 総務文教常任委員会（26.6.18付託）

番 号	件 名
議案第35号	土佐清水市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について
第36号	土佐清水市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について
第38号	土佐清水市教職員住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について
第40号	債権の放棄について
第42号	工事請負契約の締結について

◇ 産業厚生常任委員会（26.6.18付託）

番 号	件 名
議案第37号	土佐清水市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
第39号	債権の放棄について
第41号	市道路線の認定について

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議議案等件名及び議決結果一覧表

◇ 今会議提出分（市長提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
議案 第33号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第1号）について	6.10	6.10	原案可決
第34号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第2号）について	〃	6.25	〃
第35号	土佐清水市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第36号	土佐清水市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第37号	土佐清水市水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第38号	土佐清水市教職員住宅管理条例の一部を改正する条例の制定について	〃	〃	〃
第39号	債権の放棄について	〃	〃	〃
第40号	債権の放棄について	〃	〃	〃
第41号	市道路線の認定について	〃	〃	〃
第42号	工事請負契約の締結について	〃	〃	〃
第43号	平成26年度土佐清水市一般会計補正予算（第3号）について	6.25	〃	〃

◇ 今会議提出分（委員会及び議員提出）

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会 議案第3号	土佐清水市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	6. 25	6. 25	原案可決
第4号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出について	〃	〃	〃
第5号	集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議請願件名及び議決結果一覧表

◇ 審議期間中の審査分（26.6.10付託）

付託 委員会	受付年月日 番号	件名	提出者	審査 結果	議決月日	議決 結果
産業 厚生	26.5.27 1	下駄馬への簡易 水道施設の設置 に関する請願書	窪津区長 佐野俊晴	採択	26.6.25	審査結果 のとおり

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議委員会付託案件一覧表

◇ 今会議受理分の請願（26.6.10付託）

付託委員会	受付年月日 番 号	件 名	提 出 者
産業厚生	26. 5. 27 1	下駄馬への簡易水道施設の設置に 関する請願書	窪津区長 佐野俊晴

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議意見書議決結果一覧表

議案番号	件名	提出月日	議決月日	議決結果
市議会案第4号	「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出について	6. 25	6. 25	原案可決
市議会案第5号	集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書の提出について	〃	〃	〃

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議一般質問通告一覧表

◇一般質問

順位	質問者	質問内容
1	12番 井村敏雄君 (一括質問)	1 一次産業の振興について ○農業振興への取り組みは ○漁業振興への取り組みは ○林業振興への取り組みは
		2 南海地震津波対策について ○一次避難場所について ○避難場所の設備について ○避難場所の備蓄品について
		3 高齢者福祉について ○第5期高齢者福祉計画・介護保険事業計画での取り組みは ○集落での共同生活について ○国民年金について
2	3番 小川豊治君 (一問一答)	1 水産業の振興について ○最近のメジカの漁獲状況について ○土佐食、加工組合の在庫の状況 ○原魚確保のための今後の取り組み ○漁業者の沖合の時間制限とトン数制限の実態 ○漁業者の出漁に伴う一日あたりの必要経費は ○メジカ需給調整対策協議会での内容 ○下ノ加江支所の試験操業に対する考え方 ○メジカ特区について、その後の検討結果 ○宗田節新商品開発販路拡大事業について ○今後行政としての対応と予算付けは
		2 ジョン万群像について ○現在の位置についての現状認識 ○市民の評価 ○年間観光客数の状況 ○案内標識の実態 ○移設についての考えは
3	2番 森一美君 (一問一答)	1 通信網の整備促進を ○光ファイバーシステムの現況 ○市全体にはいつ頃の予定か ○整備早期実現を
		2 職員のスキルアップを図れ ○職員研修の実施状況 ○事務引き継ぎの状況 ○ホームページとの兼ね合い ○職員の能力が低いとの声をどう思う
		3 花いっぱい運動をしては ○各家庭に花を咲かせる ○高齢者の運動と安否確認 ○品評会の開催



3	2 番 森 一美君  (一問一答)	4 再生可能エネルギーの活用状況の現状と今後の計画について ○風力発電施設の計画 ○太陽光発電施設の計画 ○市有林中心のカーボン・オフセットクレジット
		5 大岐海岸の利用状況について ○ゴミの処理 ○交通対策
4	4 番 西原強志君  (一問一答)	1 清水第三土地区画整理事業について ○清水第三土地区画整理事業について ・事業開始からの経過報告について ・事業の進捗状況について ・保留地の状況について ・保留地の処分計画等について ・保留地の土地価格の設定について ・清水第三土地区画整理組合への貸付金の状況について ・同組合からの貸付金の返済計画について ・土地区画整理事業の清算について ・住居表示に伴う町の名称について
		2 新規採用職員の初任給格付け決定について ○新規採用職員の初任給の格付け決定に伴う誤りへの対応について ・対象職員数等について ・設定誤りによる過払い及び支給不足について ・初任給の格付けの設定誤りに伴う関係職員への対応について ・格付け設定誤りの原因はどこにあったのか ・行政への不信の払拭と信頼回復をどのように取り組んでいくのか
5	8 番 岡崎宣男君  (一問一答)	1 消防署員・団員の資質向上方策について ○消防長の消防行政に対する将来構想を聞く ○日常の教育・訓練状況について、内容と効果を聞く ○装備・資機材について
		2 西南豪雨災害の事後処理について ○三崎川河口から竜串橋付近までの左岸の原状回復について再三要望するも未だ未処理。市長の行政対応に期待する。
		3 水門の改良について ○市営住宅竜串第2団地付近の水門改良について
6	11 番 仲田 強君  (一問一答)	1 消費税引き上げに伴う負担軽減策について ○臨時給付金の内容 ○「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」に係る本市のそれぞれの対象世帯数と対象者数、給付総額について ○申請手続きについて ○支給期間
		2 地域包括ケアシステムの構築に向けて ○所管課としての認識は ○市長の所見を問う

7	6 番 岡林喜男君 (一問一答)	<p>1 高知新聞が行った首長への設問、集団的自衛権の行使解釈変更への賛否について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○『安倍首相が「限定的に行使することは許されるとの考えで研究を進めている」とした集団的自衛権の行使容認に賛成ですか、反対ですか』について問う</li> <li>・憲法改正を経ないままの「集団的自衛権」行使容認に賛成した理由を</li> <li>・安倍内閣の進める「集団的自衛権行使」に賛成なのか</li> <li>・憲法第9条第2項の「前項の目的を達するため、…国の交戦権は、これを認めない」に明白に違反する戦争行為ではないのか見解を</li> <li>○「集団的自衛権の行使について、安倍首相は憲法解釈の変更による容認を目指しています。あなたはどのように考えますか」について問う</li> <li>・市長が、安倍内閣の解釈変更による集団的自衛権行使に賛成した所見を</li> <li>・憲法についての認識と解釈によって日本を海外で戦争できる国にしようとする安倍内閣についての認識</li> </ul> <p>2 国民健康保険制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市民の命と健康を守る制度である国保の滞納世帯への対応について問う</li> <li>・被保険者の家計・健康状況は把握されているのか</li> <li>・「国民健康保険被保険者証」取り上げを少なくする努力を</li> <li>・市民の命と健康を守ることを基本に</li> </ul>
8	5 番 永野裕夫君 (一問一答)	<p>1 地域おこし協力隊について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○協力隊の活動</li> <li>○協力隊の目的</li> <li>○協力隊の今後</li> </ul> <p>2 ジオパークについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ジオパークって何ですか</li> <li>○ジオパークに寄せる期待は何ですか</li> <li>○ジオパークが本市に及ぼす効果は？</li> </ul> <p>3 中学校の通学路は万全か</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○現在の通学路の現状</li> <li>○通学路の問題地区の解消はできたか</li> <li>○子どもたちの通学での安全は守られているか</li> <li>○将来に向けた道路整備計画はできているのか</li> </ul>

9	13番 橋本敏男君 (一問一答)	<p>1 人口動態における課題と対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○若年女性流出 <ul style="list-style-type: none"> <li>・増田リスト自治体消滅（日本創成会議の試算）について</li> </ul> </li> <li>○人口変動 <ul style="list-style-type: none"> <li>・年少人口・生産年齢人口・高齢者人口の人口動態</li> <li>・10年後の人口分析</li> </ul> </li> <li>○人口減少が及ぼす影響 <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市の経済・財政・社会保障はどうか</li> </ul> </li> <li>○出生率の回復 <ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てしやすい環境づくり（子育て支援）</li> </ul> </li> <li>○生活圏の衰退（限界集落） <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う地域コミュニティの集落機能の維持</li> </ul> </li> <li>○人口を増加させる対策の検証と今後の戦略</li> </ul>
		<p>2 消費動向の多様化による現状と方向性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○商工業者数の動態・商品販売額と買い物依存率</li> <li>○市内の商店でお金が循環する仕組みづくり <ul style="list-style-type: none"> <li>地域商品券・市内ショッピングカード・高齢者買い物カード</li> <li>など</li> </ul> </li> </ul>
10	14番 武藤 清君 (一問一答)	<p>1 教育委員会制度見直し</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもや学校はどうか</li> </ul>
		<p>2 住民基本条例</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○条例づくりから住民参加を</li> </ul>
		<p>3 飲料水の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○安心・安全を第一に</li> </ul>

平成26年土佐清水市議会定例会6月会議意見書（全文）

市議会議案第4号

「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第14条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成26年6月25日

議長 岡 林 守 正 様

提出者	橋本 敏男
賛成者	小川 豊治
	西原 強志
	永野 裕夫
	岡林 喜男
	岡崎 宣男
	仲田 強
	井村 敏雄
	武藤 清

## 「手話言語法（仮称）」の早期制定を求める意見書

手話とは、日本語を音声ではなく、手指や表情を変えて表現していると思われがちであるが、本来は独自の語彙や文法体系を持っている言語である。「音声が届かない」「音声で話すことができない」など、聴覚障害者にとって日常を営む上で、手話は大切な情報獲得とコミュニケーションの手段である。

これまで、平成18年12月に国連総会において、「障害者権利条約」が採択され、平成20年に発効された。同条約第2条には、「「言語」とは音声言語及び手話その他の形態の非音声言語をいう。」と定義され、手話が言語として国際的に認知された。

また、政府は平成21年度に内閣府に障がい者制度改革推進本部を設置し、障害者権利条約の批准に向けて、国内法の整備を進めているところであり、平成23年8月に改正された「障害者基本法」の第3条には「全て障害者は、可能な限り言語（手話を含む。）その他の意思疎通のための手段についての選択の機会が確保される」と定められ、手話は言語に含まれることが明記されたところである。

さらに、同法の第22条には、国・地方公共団体に対して情報保障施策を義務づけていることから、手話が日本語と対等な言語であることを示し、日常生活、職場、教育の場で手話を使った情報の提供やコミュニケーションが保障され、社会に自由に参加できることを目指す「手話言語法（仮称）」を広く国民に知らせていくことや、自由に手話が使え、社会環境の整備を国として実現する必要がある。

よって、国におかれては、上記の内容を盛り込んだ「手話言語法（仮称）」を早期に制定するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月25日

土佐清水市議会議員 岡林 守正

衆議院議長	伊吹文明殿
参議院議長	山崎正昭殿
内閣総理大臣	安倍晋三殿
総務大臣	新藤義孝殿
厚生労働大臣	田村憲久殿

市議会議案第 5 号

集团的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書の提出について

土佐清水市議会会議規則第 14 条の規定により、首題の件に関し次のとおり意見書を提出する。

平成 26 年 6 月 25 日

議長 岡 林 守 正 様

提出者	岡林 喜男
賛成者	矢野川周平
	西原 強志
	永野 裕夫
	瀧澤 満
	井村 敏雄
	橋本 敏男
	武藤 清

## 集団的自衛権の行使を容認しないことを求める意見書

安倍首相は平成26年5月15日、何の法的根拠もない首相の私的諮問機関である「安全保障の法的基盤の再構築に関する懇談会（安保法制懇）」の報告を受けて記者会見し、これまで歴代政権が憲法上行使できないとしてきた「集団的自衛権の行使」を、国連の安全保障に名を借りた「多国籍軍への参加」などに大きく踏み出す決意を表明した。

しかしこれは、戦後日本が憲法を中心に戦争しない国づくりを行ってきたことから全く逆の方向に転換することである。

これまで歴代の政府は、集団的自衛権とは「自国と密接な関係にある外国に対する武力攻撃を、自国が直接攻撃されていないにもかかわらず実力を持って阻止する権利」であり、「憲法第9条の下で許容されている自衛権の行使は、我が国を防衛するため必要最小限度の範囲にとどめるべきもので、集団的自衛権行使はその範囲を超えるものであって、認められない」としてきました。

憲法の考え方が一内閣の解釈変更によって大きく変わることは、憲法の最高法規性を奪い、政府への国民の信頼、ひいては国際的な信頼をも失うものになる。憲法によって権力者の行動を制約するという立憲主義の立場を変更すべきではない。

このような重大な問題については、もっと国民的な議論を深めるべきであり、政府の憲法解釈変更による集団的自衛権の行使容認を行わないよう強く求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年6月25日

土佐清水市議会議長 岡林 守正

内閣総理大臣 安倍晋三 殿